

エクスカージョンのご案内

～ ごっつお玉手箱味覚列車体験と角館樺細工体験 ～

江戸時代から変わらぬ町割りが残る角館は佐竹北家の城下町として栄えた武家屋敷が今も残っています。玉川と桧木内川に沿いに市街地が拓け、三方が山々に囲まれたこの町は、歴史ある武家屋敷と桜並木が美しい、まさに「みちのくの小京都」と呼ぶにふさわしい風情を漂わせた観光名所です。その角館から鷹巣まで、秋田県内陸部を縦貫する長さ94.2kmのローカル線。沿線農家のお母さんたちの心のこもった手作り料理を味わいながら車窓からの風景はまさに日本の原風景。古き良き日本を体験する「山のリゾート列車」の中で、沿線農家のお母さんたちの心のこもった手作り料理を味わいながら、みちのく秋田の旅を堪能していただきます。

日 時： 平成 29 年 9 月 30 日（土）
 集合場所： 秋田駅東口
 集合時間： 8:00
 参加費： 8,000 円
 定 員： 40 名（定員になり次第、締め切らせていただきます。）
 申込方法： 講演会大会参加申込 WEB フォームからお申込み下さい。
 申込期限： 平成 29 年 8 月 31 日（木）

月 日	行 程
9/30 (土)	貸切バス 観 光 秋田駅東口====角館散策・樺細工伝承館にて体験====角館駅+++++++ 8:00 (9:00) (11:20) 11:50 内陸線特別企画／ごっつお玉手箱(昼食) 観 光 観 光 ++++++阿仁合駅.....阿仁異人館==道の駅上小阿仁= 13:14 ==秋田キャッスルホテル 16:10 頃

■角館【かくのたて】

・角館の今に続く町並みをつくったのは芦名(あしな)氏で、江戸時代のはじめ 1620 年(元和 6 年)のことでした。その後は佐竹北家の城下町として栄えました。玉川と桧木内川に沿いに市街地が拓け、三方が山々に囲まれたこの町は、歴史ある武家屋敷と桜並木が美しい、まさに「みちのくの小京都」と呼ぶにふさわしい風情を漂わせた観光名所です。

■樺細工伝承館【かばざいくでんしょうかん】

・ヤマザクラ類の樹皮を用いて作られる工芸品を樺細工(かばざいく)といいます。独特の技法によってヤマザクラの樹皮特有の光沢を生かした、渋くて奥深い色合いが、名実ともに伝統的工芸品として広く愛用されています。代表的な製品として茶筒・茶櫃等のお茶道具類、文箱、茶だんす、ブローチ、タイピンなどがあります。樺細工のミニ壁掛けを、自分でデザインして制作してみましょう。完成品はおみやげとしてお持ち帰りしていただきます。

■内陸線鉄道【ないりくせんてつどう】

・角館から鷹巣まで、秋田県内陸部を縦貫する長さ 94.2km のローカル線。黒板壁が美しい古都・角館や森吉山麓のマガギ文化発祥の地など豊かな自然に恵まれている。車窓からの風景はまさに日本の原風景。古き良き日本を体験する「山のリゾート列車」が旅へと誘います。

■ごっつお玉手箱【ごっつおたまてばこ】

・「ごっつお玉手箱列車」って、なあに？沿線農家のお母さんたちが旬のお料理をそれぞれ列車に持ち込みます。どんなお料理かって？・・・それは開けてびっくりの玉手箱！心のこもった手作り料理を味わいながら、お母さんたちとのふれあいも「ごっつお」です。ちなみに「ごっつお」は秋田弁で「ご馳走」という意味です。